

# Polaris news

【北高ニュース NO.202304】

## SDGs カードゲーム

6月19日に国際連合地域開発センターの方に来ていただき、国際理解コースの3年生がSDGs カードゲームを体験しました。1年生の時からSDGsについて学んでいますが、カードゲームで疑似体験をすることで、新たな気付きがあり、SDGsに対する理解も深まりました。カードゲームの振り返りをした後は、スナック菓子が温暖化につながっているという具体的な例から、いかに世界がつながっているか、そして私たちの消費行動が変われば、世界は変わっていくかもしれないことを学びました。他にも、サーキュラーシティ表明をした市の取組の紹介もあり、できることは意外と身近にあることに気付くことができました。



### 生徒の感想

- ・世界のバランスを保つことは大変だということを知った。1人じゃなく、みんなと協力しないとできないことがあることに気づいた。
- ・今回のゲームでは、周りとの関わりが何より重要だと感じた。周りとの協力しなければ、今回のように全員が目標を達成するのは無理だと思う。
- ・講師の方のお話やゲームを通して、どんな環境や世界でも「バランス」が大切なのだと知りました。自分たちの利益しか考えていないと、今の世界のように戦争がおきたり、問題が未解決のまま時間だけが過ぎてしまったりします。時間切れが来てしまう前に、私たちが行動していかなければいけないのだと、強く感じました。
- ・SDGsを知っている人は増えているのに、達成度が下がっている話を聞いて、もっとたくさんの人にしっかり意味も学んでもらい、協力していけると良いと思いました。